

創立60周年記念事業
北海道こども・若者応援記念大会（「少年の主張」全道大会）
こども・若者応援フォーラム

開 催 要 項



1 趣 旨

本年、協会創立60年を迎えるにあたり、協会名を「北海道こども・若者応援協会」に改め、新たな決意のもと、こども・若者の成長を社会全体で応援する環境づくりを進めています。

今大会は、地域でこども・若者を応援する活動に功労のあった方々の顕彰や講演、「少年の主張」全道大会を開催し、こどもたちの声に耳を傾けて心を通わせるとともに、こども・若者を取り巻く諸課題への認識を深め、地域活動が促進されるよう「こども・若者応援フォーラム」を一体的に開催し、本道におけるこども・若者の成長を応援する取組の一層の推進、道民意識の醸成を図る場とするものです。

2 主 催

【北海道こども・若者応援記念大会（「少年の主張」全道大会）】

公益財団法人北海道こども・若者応援協会／北海道／独立行政法人国立青少年教育振興機構

【こども・若者応援フォーラム】

公益財団法人北海道こども・若者応援協会

3 後 援（予定）（北海道こども・若者応援記念大会（「少年の主張」全道大会）

北海道教育委員会、北海道警察、北海道PTA連合会、北海道中学校長会、北海道新聞社、株式会社コンサドーレ

4 日時・会場

1日目【北海道こども・若者応援記念大会（「少年の主張」全道大会）】

日 時：令和8年9月5日（土）10：00～15：45

会 場：共済ホール（札幌市中央区北4条西1丁目1 共済ビル6階）

2日目【こども・若者応援フォーラム】

日 時：令和8年9月6日（日）10：00～11：30

会 場：北海道庁旧本庁舎 赤れんが庁舎（札幌市中央区北3条西6丁目1番地）

5 日 程

1日目（9月5日）【北海道こども・若者応援記念大会（「少年の主張」全道大会）】

時 間	内 容
9：30	開 場
10：00	開 会（主催者挨拶）
10：05	令和8年度 北海道社会貢献賞（青少年健全育成功労者）表彰式
10：20	令和8年度 北海道こども・若者応援顕彰 表彰式
10：25	北海道こども・若者応援推進員（永年）功労者表彰式
10：30	来賓祝辞
10：40	令和8年度「少年の主張」全道大会 LIVE 配信予定
12：20	昼 食
13：20	活動発表（こども・若者による発表）
14：00	記念講演 講 師：北海道大学副学長 横田 篤 氏 演 題：北海道大学創基150周年とSDGs ～社会的インパクトのさらなる向上を目指して～
15：15	「少年の主張」審査結果の発表・表彰・講評
15：45	閉 会

記念講演 講師紹介

講 師：北海道大学副学長 横田 篤 氏

演 題：北海道大学創基 150 周年と SDGs

～社会的インパクトのさらなる向上を目指して～

昭和32年東京都生まれ。1979年北海道大学農学部農芸化学科を卒業。1984年同大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士後期課程を修了（農学博士）。同年味の素株式会社中央研究所に入所。89年北海道大学農学部助手に採用。1992年同助教授に昇任。96～7年オランダ王国フローニンゲン大学にて乳酸菌研究に従事。2000年北海道大学大学院農学研究科教授に就任。15年から4年間、農学研究院長を務めた。20年同大学理事・副学長に就任し、26年までサステナビリティ・SDGsを統括、同時に国際、財務、施設・環境管理担当を歴任。26年より同大学副学長として創基150周年記念事業を統括。研究の専門分野は発酵や醸造を扱う応用微生物学及び腸内細菌学。日本生物工学会理事、日本乳酸菌学会会長などを歴任。



2日目（9月6日）【こども・若者応援フォーラム】

時 間	内 容
9 : 3 0	受 付
1 0 : 0 0	開 会（各分科会毎に開会）
	【第1分科会】 テーマ 持続可能な地域づくりを考える 【第2分科会】 テーマ 地域から教育を変えていく 【第3分科会】 テーマ これからのこどもが生きるデジタル社会
1 1 : 3 0	閉 会

第1分科会 **テーマ** 持続可能な地域づくりを考える

■話題提供 持続可能な地域づくりを次世代と共に。

—関係人口と共に取り組むこれからの地域づくり—

■発 表 者 NPO法人ezorock 代表理事 草野 竹史 氏

札幌生まれ、酪農学園大学経営環境学科卒。北海道内を拠点に若者とともに環境保全や地域づくり、災害支援などに取り組むNPO法人ezorockを設立。野外ロックフェスでの環境対策活動をきっかけに、若者が持つ「社会を変える力」を引き出しながら、これまで述べ2万人を超える若者と協働する実践的なプロジェクトを展開。現在では、多世代・多分野をつなぐ活動を通じて、市民参加型の社会づくりを推進中。



第2分科会 **テーマ** 地域から教育を変えていく

■話題提供 どこからでも「こえる」社会をつくる

—地域の教育を変える、コエルワの挑戦—

■発 表 者 株式会社コエルワ 代表取締役 CEO 阿曾沼 陽登 氏

京都府生まれ、岡山県倉敷市出身。北海道浜中町の牧場にて酪農業、東日本被災地での教育NPOカタリバでの活動を経て24歳で慶應大学入学。大学2年時にまちの飲食店を利用した中高生向け学び場の運営を始める。大学卒業後、教育事業と並行して民間企業の経営企画（事業規模1000億規模）業務などに従事。2023年株式会社ヒナタヤ創業、2024年株式会社コエルワ代表取締役CEO就任、2019年世界経済フォーラムより、U33の世界組織 Global Shapers選出（Tokyo Hub）。



オンライン参加可能

第3分科会 **テーマ** これからのこどもが生きるデジタル社会

■話題提供 次世代を生き抜く学びの場

—マナビでミライを変えていく—

■発 表 者 ふじゼミ主宰 藤澤 義博 氏

航空会社に約25年間勤務した後、2018年に北海道で小中学生向けデジタル・プログラミングスクールを創設。2022年10月から2025年9月まで北海道木古内町教育長を務め、ICT・情報教育をはじめ、学校・行政・地域が連携した教育改革を推進した。現在は、大学教育や地域づくりに携わりながら、子どもから大人までを対象としたデジタル人材育成、社会教育、地域と学校をつなぐ学びの場づくりの実践・研究に取り組んでいる。北海道文教大学客員教授、総務省地域力創造アドバイザー（北海道推薦）、ふじゼミ代表。社会教育士、教育C10、日本語教師。



6 参加対象

こども・若者応援推進員、市町村青少年育成委員、市町村青少年補導センター少年補導委員、少年補導員、市町村青少年問題協議会委員、民生委員児童委員、保護司、社会教育委員、社会教育指導員、公民館運営審議会委員、青少年育成市町村民会議・青少年育成団体関係者、青年団体・女性団体・PTA関係者、町内会・自治会等関係者、社会福祉・社会教育関係団体関係者、総合振興局・振興局・教育局及び市町村青少年行政主管課職員、公民館等社会教育施設職員、企業勤労青少年教育担当者、北海道警友会、その他本大会の趣旨に賛同する方

7 参加申込

次の方法で、「応援記念大会」サイトにアクセスし、申込専用フォームより申込み下さい。

QRコードを読み込む	URLの直接入力
	https://www.ikuseikyo.jp/cn48/pg1433791.html

【留意事項】

- ☐ 市町村又は市町村教育委員会の参加希望者は、主管課で取りまとめの上、お申し込み願います。
- ☐ 札幌市においては、子ども育成部子どものくらし・若者支援担当課で、市内10区分の職員や青少年育成委員等の関係者を取りまとめの上、お申し込み願います。
- ☐ サイトからお申し込みできない場合、【ご氏名、お住まいの市町村名、所属、希望分科会、電話番号、メールアドレス】をご記入の上、下記FAX番号に送信ください。（様式問わず）

申込期日 令和8年8月21日（金）必着

8 その他

- ☐ 個人情報保護等の観点から、本大会及びフォーラム参加者名簿の配付はいたしません。
- ☐ 昼食（お弁当）の販売はありません。近隣の飲食店等をご利用下さい。
- ☐ ご来場の際は、公共交通機関等をご利用ください。会場に駐車場はございません。

— たくさんのご参加をお待ちしております —

お問い合わせ先

公益財団法人北海道こども・若者応援協会
(旧：北海道青少年育成協会)

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階

TEL (011) 231-6451 FAX (011) 231-6457